

授業に役立つホームページ

第2回 難しいことばを調べながら読もう

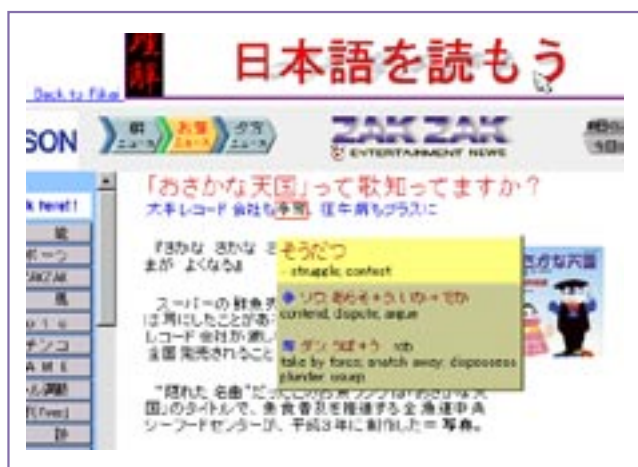
今回は、海外のコンピュータで日本語を使えるようにする方法を紹介しました。しかし、自分のコンピュータで日本語の文字を表示することができるようになって、まだ「日本語のページは難しく読めない」と思う人も多いかもしれません。

この理由の一つに、漢字の問題があるでしょう。日本人のために書かれた日本語のページには、たくさんの漢字が使われています。その中には知らない漢字もあって、その読み方を調べるのがとても大変だと思います。

このようなときに役に立つのが、「Rikai」(<http://www.rikai.com/>)というサイトです。このサイトは、インターネットの日本語のページにある漢字に、自動的に読み方と英語の訳をつけてくれるというものです。

それでは、読みたい日本語のページを「Rikai」を使って読んでみましょう。まず、ブラウザの新しいウィンドウを開いて上述のURLを入力し、Rikaiのページに行きます。右上のボックスで「Japanese to English」のバージョンを選びます。左側のボックスに、日本のニュースなど読みたいページのURLを、「コピー」と「貼り付け」を使って入れます。その後で「GO!」のボタンを押せば、そのページが「Rikai」をとおして表示されます。

(図1) 日本のニュースのページをRikaiで見たところ



ページのレイアウトは、もとのページと同じですが、このページの中の漢字にカーソルを合わせれば、単語

の読み方と英訳、それにそれぞれの漢字の意味が出てきます。漢字だけではなくカタカナの言葉も、カーソルを合わせればもとの英語がわかります。

また、ホームページのURLだけではなく、日本語の文を直接ボックスに貼り付けて、意味や読み方を調べることもできるので、例えば日本語の電子メールなどを読むときにも便利です。

(図2) メール本文をRikaiで見たところ



このようにして「Rikai」を使えば、日本語ページわからない漢字を調べる時間を少なくすることができますので、みなさんが自分で日本語のページを読むときに役に立ちます。また自分の学生や生徒に紹介すれば、学習者が自分の興味のあるページを「Rikai」を使いながら一人で読むことができるようになるでしょう。

一方で、この辞書は完全ではないので、調べられないことばがあったり、正しくない説明が出ることもあります。ですから教師のアドバイスも大切です。

授業では、例えば次のような使い方ができます。まず、授業のテーマに関係のある内容で、ちょうどいい日本語レベルのページを教師が選んで、学生にURLを教えます。学生は自宅や図書館のコンピュータで、Rikaiを使いながらそのページを読んで、教師が出した問題に答えます。そのほかに、年中行事などのテーマについて、学生がインターネットで調べて、クラスで発表する活動にも役に立ちます。